

所 属	県土整備部 砂防課		
担当(係)名	砂防保全担当	内線	3744

<清流の国ぎぶづくりの推進>

里山における砂防事業と森林整備の一体的な推進

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
1, 013, 192 (前年度)	国庫 511,596 県債 501,500	工事請負費 782,192 (砂防えん堤工等)
1, 492, 000)	一財 96	委託料 147,000 (測量設計等)

2 背景・現状

地方の過疎化・高齢化や地域を支えてきた産業の衰退など、地域を取り巻く社会環境の変化などにより、集落周辺の斜面・溪流の荒廃が進んでいる。さらに、近年、局地的な集中豪雨による土砂災害や流木災害が多発しており、今後もこのような災害のリスクが高まると予想され、被害をより軽減できる取り組みが必要である。
また、公共事業を推進するにあたっては、地域環境に貢献できる取り組みが求められている。

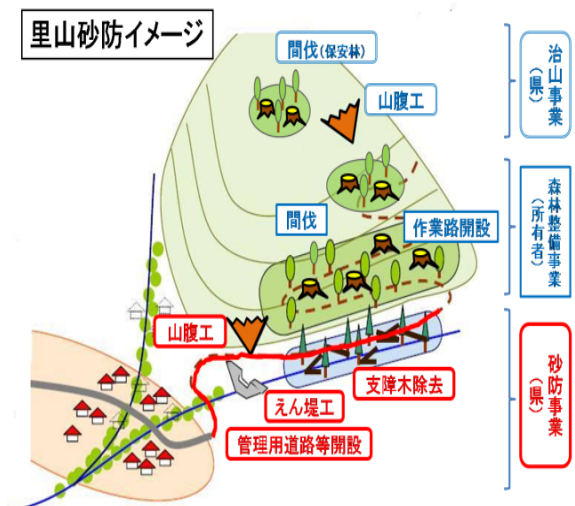
3 事業目的

里山と呼ばれる中山間地等の集落周辺において、より効果的に土砂流出や流木による被害を軽減するため、従来の砂防施設による土砂災害対策と連携して治山事業を実施するとともに、森林所有者の森林整備（間伐等）等により流域単位での整備を推進する。

適正に管理された森林と土砂災害対策施設等による安全安心な地域環境の整備により「清流の国ぎふ」づくりを推進する。

4 事業概要

- 藤倉1沢（山県市）ほか3箇所
 - ・22年度に森林所有者、土木・農林事務所、市町村による協議会において策定した里山整備プランに基づき、流域の整備を実施する。
- 牧戸谷（飛騨市）ほか3箇所
 - ・23年度に新たに4箇所において協議会を立ち上げることで、県内全域の取り組みに発展させる。
- 具体的な整備内容
 - ・砂防えん堤工、山腹工等の実施
 - ・森林整備に利用可能な管理用道路開設
 - ・流木の発生源対策として溪流内支障木除去
 - ・現場発生材の有効利用等環境に配慮した取り組みの実施



(款) 8 土木費	(項) 4 砂防費	(目) (3) 砂防事業費
(明細書事業名) 公共事業		
通常砂防費 他		